

令和3年4月19日

岸和田市 施設再編に関する教育長メッセージ（全文）

岸和田市 教育長の天下です。市民の皆様には、平素から、岸和田市立保育所・学校園・公民館・体育館等の運営に格別のご支援、ご協力を賜りまして、ありがとうございます。また本日は、各計画のオンライン説明をご視聴いただきまして、重ねて御礼申し上げます。

まず、岸和田市の保育・幼児教育の現状をみますと、保育所へ本来入所を希望しながら入所ができない、希望する保育所に入園できない子どもさんは年間300人を超える一方、岸和田市立の幼稚園に入園される児童は、募集定員の6割にとどまるなど、大変課題があることから、岸和田市立の保育所・幼稚園を認定こども園に再編する、前期の個別計画（案）をとりまとめたところでございます。

次に、岸和田市立の小・中学校の状況についてみますと、児童生徒の数がピーク時から半減し、学校が小規模化している中で、クラス替えが出来ない、あるいは教科の担当教諭、専任教諭が配置をされない、クラブ活動等、集団活動が制約を受けるといった課題が生じております。また、各施設については老朽化しているのですが、その修繕、補修、改築等に必要な財源が、今後50年間にわたって4割しか確保できないという大変厳しい状況におかれております。こういう状況を改善するため、学校を統合し、あるいは通学区域を見直すことで、小・中学校の適正な規模を確保し、適正配置を図るための、第一期実施計画（案）を同じくとりまとめさせていただいた次第です。

さらには、岸和田市立の公民館や体育館の状況についてみると、その施設数や規模の割に利用者が限られており、一方でこれらの施設についても大変老朽化が

進み、耐震性にさえ不安がある中で、同じくその改修等に必要な財源が、確保の見込みがたたないということで、再編の必要性が高まっておりますことから、基本方針を定めさせていただいたというところでございます。

もとより、これらの施設については、長年にわたって市民の皆様、地域の皆様を守り、育て、利用されてきた施設であり、それらの施設が再編あるいは統合の対象となることについて、市民の皆様が疑問や不安を持たれることは、私も十分理解できるところです。しかしながら、やはり学校施設等々についてはあくまでも子どもたちのためのもの、子どもたちの教育の場であり、今後とも、将来にわたって子どもたちに良好な教育環境、教育内容を保障していくためには、これらの改革は不可欠であるというふうに考えております。また公民館等や、社会教育・社会体育施設についても、必要な改革を進めていくことが重要であるというふうに考えております。

ただ、これらの改革の実施に伴いましては、市民の皆様、地域の皆様にご不便をおかけしたり、また地域の活動に影響を及ぼすことがあると考えられます。これらの諸課題については、地域の皆様、市民の皆様から十分ご意見を伺い、また協議をしながら、永野市長とともに、その課題解決を図ってまいります。

本来ですと、これらの計画（案）については、4月中旬から6月にかけて、住民説明会を開催させていただき、市民の皆様にご説明を直接その内容についてご説明をし、また、色々なご意見、ご質問を伺う予定をしておりましたけれども、今回、新型コロナウイルスの感染拡大、大阪府による医療緊急（非常）事態宣言、さらには外出自粛の要請を受けて、再延期のやむなきに至りましたことから、今回こういうオンラインでの説明を行わせていただきました。

今後、感染状況を見極めて、実施可能と判断された場合には、すみやかに住民説明会を開催していきたいというふうに考えております。また本日からご説明する計画については、あくまでも（案）の段階のものです。今後、住民の皆様にご説明をして、その内容についてご質問・ご意見をいただき協議しながら、また市議会でも十分ご審議をいただきながら、よりふさわしい（案）を、あるいは計画を策定していきたいというふうに考えております。

今、岸和田の将来のことを考えたとき、あるいは子どもたちの教育の将来を考えたときに、これらの計画の推進は待ったなしの課題であり、今の世代に課せられた責任であるというふうに私は考えております。市民の皆様には、これらの計画の内容についてお知りおきをいただき、ご理解をいただければ幸いです。どうぞよろしくお願い申し上げます。

岸和田市教育委員会 教育長

大下 達哉